

『あなたが私とともに』 詩篇23篇1～4節 2018.10.7 聖日礼拝説教より

『…主はこう仰せられる。見よ。わたしは自分でわたしの羊を捜し出し、これの世話をする。…わたしは失われたものを捜し、迷い出たものを連れ戻し、傷ついたものを包み、病気のを力をづける。…』 エゼキエル 34:11、16

人生を導かれる羊飼いが、私たち羊にされることは…

❶**たましいの回復への導き**…「たましい(ネフェシュ)」とは『喉』の意。喉は、飲むにも、食べるにも、声を出すにも、息をするにも、生きるための最重要部分。詩篇 42:1 にあるように、人は人生の荒野で救いを求め、神を求め、安心の居場所を求めて渴く。その癒しは、緑の牧場に伏させ、いこいの水辺に伴われる主のみ！「生き返らせ(シューブ)」の原意は「戻る／帰る」。創り主に立ち返った時、初めて魂は回復され新しい力を得る。神は、迷える小羊を御許に抱き寄せて元気にされる(イザヤ 40:29-31)！主が、そこまでしてくださる動機は何？●**御名のために！**聖書が救いのわざを語る時、神が「わたし自身のため」と告げる箇所は多い(イザヤ 43:25、48:9-11 等)。神は御自身のために怒りを抑え、救いを用意し、罪を聖める！それは、ご自分で創り、選び、愛したものに対して全責任を負われる姿！創り主であれば当然なこと!?どんなに背いても愛し、捜し、立ち返れば大喜びされる方(ルカ 15:32)のもとに、あなたは立ち返ったか(I ペテロ 2:25)？

❷**恵みの人生への導き**…●**私を義の道に**…「道」とは「踏まれてできた小道」の意。誰かが歩んだ足跡が「道」になる。「義の道」とは、人が神と結ばれ、共に歩み、永遠の命へ至る道！何を信じ、どの道を歩んだかが問われる！正しい道は「わたしが道だ」と言われたイエスと共に歩む以外にない！主は十字架の「悲しみの道(ヴィア・ドロロサ)」を歩まれ、「命の小道」を開き、私たちをそこに導き、祝福と恵みを与えられる。●**導かれます**…導く方が私たちに対して求められるのは、従順と謙孫！主は強引に導くことはない！私たちが理解し納得するように導かれる。当初は、御心に戸惑い納得できずとも、後で振り返った時、その導きが最善だったと思い知る(イザヤ 30:15)。人生を振り返り、主が私たちを導かれた経験を静まって思い起こしたい。

★この詩篇23篇を覚え、黙想し、緑の牧場で憩い、静かな水辺で深呼吸してゆっくり休み、危険から守られ、行くべき道へと導かれる羊飼いと一緒にいる自分を想像したい！あなたの信じる神は、どんなお方？『主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。』